



伊藤 正子 議員

問 上船渡橋の現況と安全確保について

答 定期的な点検と補修を実施し 安全確保に努める



現在の上船渡橋（土与部から幸手方面）

問 生活圏を埼玉側に委ねている町民の通行路にかかる上船渡橋の安全管理、通勤・通学渋滞時間の対策、県整備促進事業の進捗状況は。

町長 上船渡橋は昭和36年に作られ、老朽化による安全性の確保が心配され、対策としてバイパス整備を進めています。所管する杉戸県土整備事務所では、平成20年に補修を行い、日常点検等により安全確保していただいております。本路線は、幸手駅・工業団地の乗り入れ、幅広い利用に供して重要な路線であり、幸手市と連携した同盟活動

を通じて早期に解消できるようにバイパスの開通を目指して事業を進めてまいります。

建設環境課長 50余年の期間が経過して老朽化による安全性が懸念されており、杉戸県土整備事務所により、架設以降10年以上経過した15メートル以上の橋梁については点検を実施し、平成20年度に橋のつなぎ目にあります伸縮装置の修繕を行っています。定期的なパトロール、目視等による点検を実施し安全確保に努めていると伺っております。

問 事業を新たに設けた背景、町独自のプラン、他の自治体に呼びかけイベントの開催、町への婚姻届件数、カップルになつて町に在住の特典は。

副町長 少子化が進み高齢化と併せて大きな社会問題となっています。社会を挙げて取り組みなければならぬ課題です。少子化の要因としては、仕事と子育ての両立を支援する雇用環境の整備や、育児休業中の経済的な支援などに加え、未婚化、晩婚化の進行があり、この背景には、男女の出会いの場が減少していることが挙げられます。未婚晩婚化の流れを変えられる施策として「いばらき出会いサポートセンター」を中心として結婚サポート体制作り

を進めています。

町民税務課長 町では、平成12年度に結婚相談員制度を設け、ふれあいバスツアーを企画しましたが、参加者が集まらず事業が中止になった経緯がございます。市町村単位で企画しても参加者が集まらないという状況であることから、平成25年度の新規事業として、結婚サポート事業につきましては、県の事業を活用して推進していくものです。結婚相談、パートナー紹介においては、会員登録していただき会費1万5000円（3年間有効）、個人のプライバシーも確保されていることから、成婚の実績も上がっております。また、若者の出会いの相談や仲介等を行うマリッジサ

問 結婚サポート事業について

答 サポート体制づくりを含め 近隣市町村と連携を検討したい

ポーターを町としては今年度10名の方を目標に連絡会をつくり活動を行っていききたい。平成24年度婚姻届の件数は、3月5日現在で24件です。近隣市町村で「婚活イベント」を積極的に展開しているところもあるので連携等を検討し、祝金支給事業に代わる特典については、他市町村の例を参考にしながら検討してまいります。



その他の質問

町中のごみ収集について